2017/11/05

経過措置 専門医・指導医 認定申請書の記入上の注意

1. 記載日

申請書を作成した年月日を記入してください。

2. 申請履歴

申請履歴を記入ください。昨年度申請をした方は「有」、今回初めて申請する方は、「無」にチェックを入れてください。

3. 専門医・指導医の区分

「専門医」と「指導医」のどちらか一つだけに必ずチェックを入れてください。

4. 氏名

手書きの場合、 氏名は楷書で記入してください。

5. 登録の鍵とする学会

本専門医制度では本協会を構成する学会に所属していることが必須条件となります。主とする学会を「登録の鍵とする学会」として登録し、重複登録の防止などの管理を行っています。「登録の鍵とする学会」は、その下欄にある8学会でなければなりません。 また申請時にその学会の会員である必要があります。その学会の会員番号を「会員番号」 の欄に記入してください。

6. 主たる所属

主たる所属組織の活動領域を行政、職域、教育研究機関、医療機関（大学病院を除く）、 その他のうちから一つだけ選んでチェックを付けてください。 大学病院での社会医学領域の活動をしている場合は、教育研究機関にチェックを入れてください。

7. 主たる勤務先名と役職

複数の組織、 機関に在籍している場合、 主に活動している組織、 勤務先名と役職を記入してください。

8. 住所(送付先・連絡先)

自宅または勤務先のどちらかにチェックを入れてください。勤務先を登録する場合、組織名、所属名なども記載し、確実に郵送物が届くようにしてください。

2017/11/05

9. E-mailアドレス

通常の連絡等はE-mailで行うことを予定しています。事務局からはPCメールで発出しますので、 携帯メールアドレスは不可です。 メールアドレスは職場、個人のいずれでも構いません。

10. 医籍登録番号、登録年月日

アラビア数字で記入してください。

11. 社会医学系の経歴の要点

経歴の詳細は次頁に記載するようになっていますので、 概要で構いません。 ここでいう「常勤換算」とは、週1日× 1年間の活動を1単位とし、3単位以上で常勤1年間と同等の経験とする換算方式を意味します。 ただし、 この換算においては実年数を超える経験年数とすることはできませんので、 ご注意ください。 同時進行の経験期間も重複カウントはできません。

12. 経験年数

「社会医学系の経歴の要点」 と同じく、非常勤の経験は常勤換算を用いて常勤に換算してください。ただし、1年間に3単位を超える活動であっても1年を超える経験年数を計上することはできません。同時進行の経験期間も重複カウントはできません。
合計は、 2018年4月1日時点をもって算出してください。

13. 署名・捺印

署名は、 自筆で記入してください。

14. 社会医学系での活動・実績

「社会医学系での活動歴」では、社会医学系専門医協会HPにある「社会医学系での経験を表す例(2018年度用)」 を参照して記載してください。
＊できるだけ時系列で、 わかりやすく記載してください。
＊非常勤や兼任の際は、期間[年月数]と頻度[週に何時間か等]がわかるよう記載してください。
〔例:○年○月～○年○月週に□日〕
＊委員会活動や研究活動など、外部から関与の度合いがわかりにくいものは、上記の期間・頻度に加えて、 主導者や代表か協力者か等の役割を明示してください。

15. 提出時の注意

申請書は、必ず2頁で記入し、2頁を両面で1枚として、正本とコピー2部(合わせて3部)を、提出してください。